

流体制御の明日を開く



株式会社オーケーエム

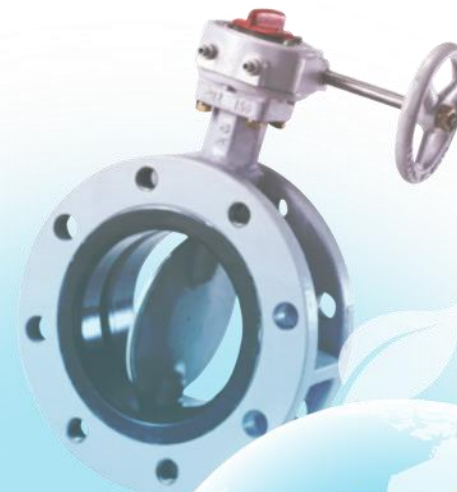
2022年3月期決算および 中期経営計画説明資料

2022年5月20日

株式会社オーケーエム

Webページ: <https://www.okm-net.jp/>

証券コード: 6229



I. トピックス	2
II. 2022年3月期 決算	4
III. 2023年3月期 業績予想	12
IV. 新中期経営計画について.....	16
Appendix. オーケーエムについて	28

流体制御の明日を開く



I. トピックス

2022年3月期のトピックス

- ✓ バルブ製造業においては、新型コロナウイルス感染症による景気後退の影響を受けたが、半導体工場の増産投資や世界の新造船受注量の増加等の明るい兆しが見え始めた。
- ✓ 陸用・船用ともに新型コロナの影響を受けて売上高は前期比▲3.5%となった。陸用については、半導体工場や脱炭素化に向けたバイオマス発電設備等の需要増を受けて前期比+1.9%。船用は前期比▲8.4%となったが、船舶排ガス用バルブは堅調に推移した。
- ✓ 売上高の減少に加え、製造経費等の増加の影響により、営業利益は前期比▲34.4%、営業利益率は7.8%となった。
- ✓ ウクライナ情勢について、為替の影響を含めた原材料・エネルギー価格の高騰による生産・輸送コストの上昇等について精査し、2023年3月期以降の業績予想に織り込んだ。
- ✓ 2021年12月4日と17日に上場後初の個人投資家向けオンライン説明会を実施した。
- ✓ 2022年2月3日、株式会社シェアードリサーチによる日本語版アナリストレポートが公開。なお、4月3日に英語版アナリストレポートが公開された。

流体制御の明日を開く



Ⅱ. 2022年3月期 決算

2022年3月期 決算サマリー

(百万円、%)

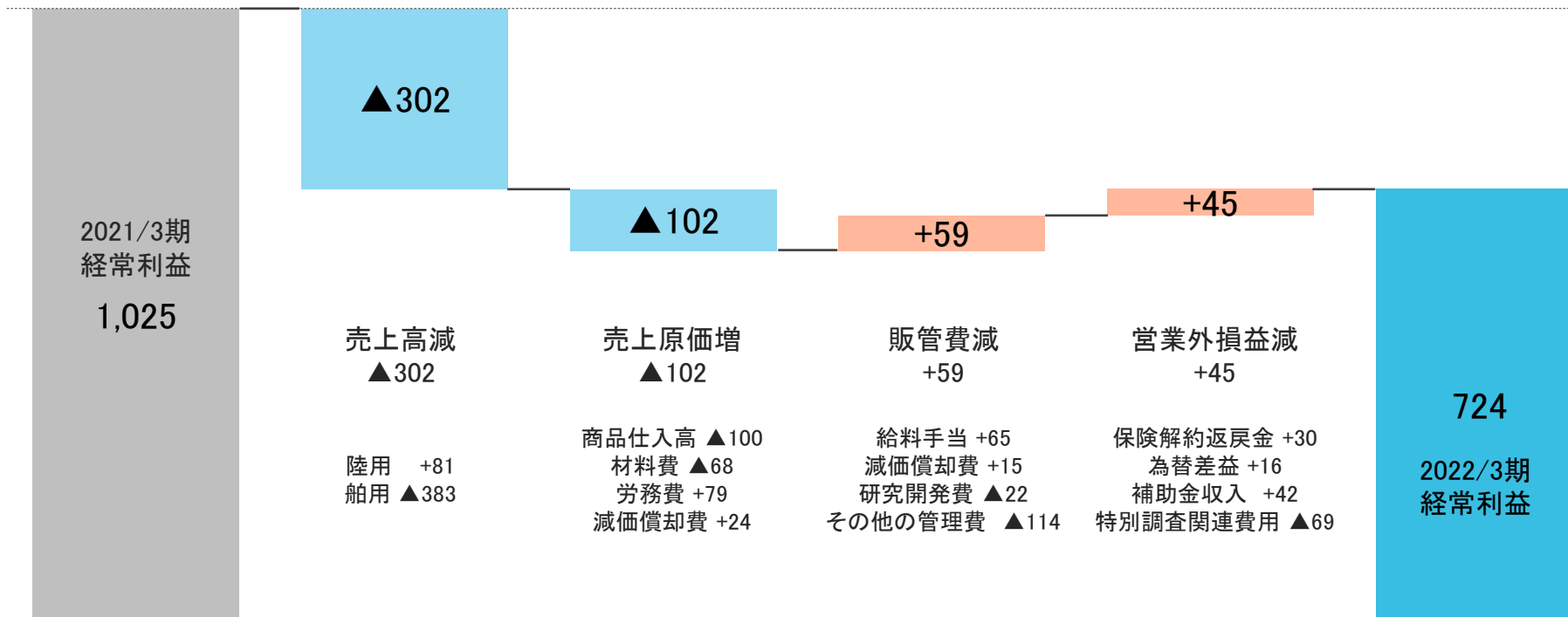
	2020/3期		2021/3期		2022/3期				
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	売上比	前年同期比	期初予想	期初予想比
売上高	8,852	2.4	8,759	▲1.0	8,456	100.0	▲3.5	8,600	▲1.7
営業利益	892	▲33.3	1,009	13.0	662	7.8	▲34.4	760	▲12.9
経常利益	849	▲36.4	1,025	20.8	724	8.6	▲29.3	760	▲4.7
親会社株主に帰属する当期純利益	573	▲35.7	749	30.8	850	10.1	13.4	520	63.5

	2020/3期	2021/3期	2022/3期
総資産	10,318	12,006	12,365
純資産	5,650	7,681	8,520
自己資本比率(%)	54.8	64.0	68.9
1株当たり配当金(円)(株式分割調整後)	20	40 (普通配当35円 記念配当5円)	45 (普通配当35円 記念配当10円)

- ✓ 売上高は陸用が微増となり、船用は減少したものの、造船主要三カ国における営業戦略が奏功し、船舶排ガス用バルブ販売は堅調に推移。
- ✓ 売上高の減少に加え、製造経費の増加等の影響により、営業利益、経常利益は減益。
- ✓ 中国子会社の補助金収入等により当期純利益は増加。

経常利益増減分析

(百万円)



- ✓ 売上高は陸用が微増となり、船用は減少。
- ✓ 国内外の拠点新設や国内工場の設備入替え等の先行投資により減価償却費が増加。
- ✓ 営業外費用として特別調査関連費用を第2四半期までに計上。
- ✓ 営業外収益として、経済産業省のサポイン事業等による補助金収入を計上。

売上高構成(地域別)

(百万円、%)

<地域別売上高>	2020/3期		2021/3期		2022/3期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	8,852	2.4	8,759	▲1.0	8,456	▲3.5
日本	6,367	8.1	6,363	▲0.1	6,247	▲1.8
韓国	1,228	▲3.1	1,173	▲4.4	1,183	0.8
中国	736	▲14.8	819	11.3	598	▲27.0
マレーシア	281	▲13.6	156	▲44.3	204	30.4
その他	238	▲20.4	246	3.0	224	▲8.9

- ✓ 韓国では、韓国駐在事務所を活用した営業戦略が奏功し、船舶排ガス用バルブの販売が堅調に推移。
- ✓ 中国では、工業ガスや船用向けの期ズレ等により売上高が減少。
- ✓ マレーシアでは、半導体工場向けの販売が好調に推移。

売上高構成(市場、業界別)

(百万円、%)

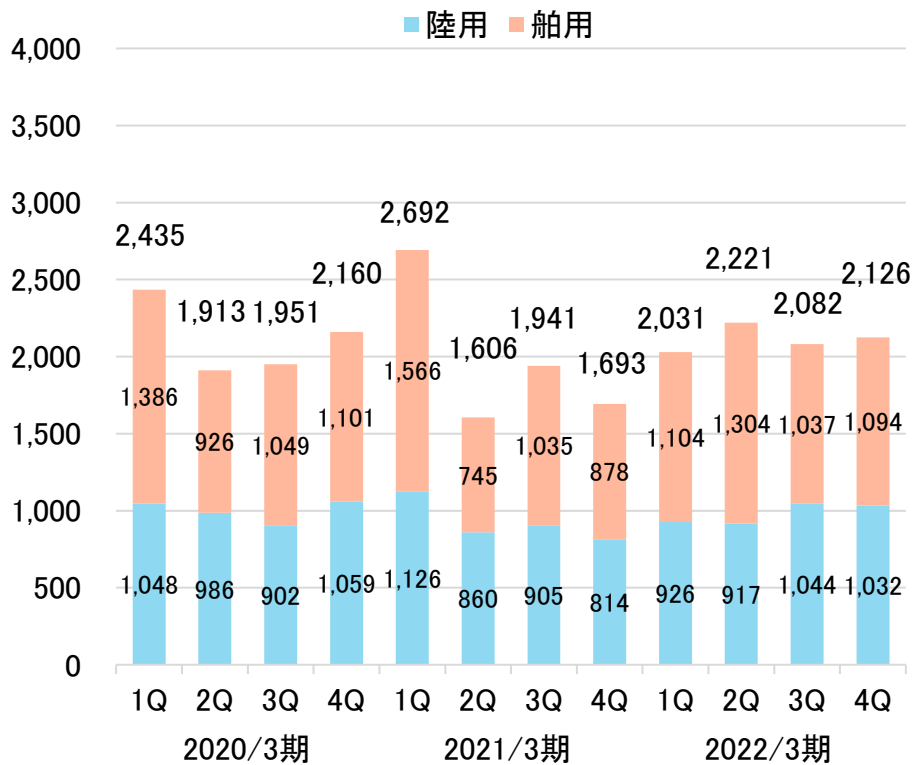
<市場別売上高(連結)>	2020/3期		2021/3期		2022/3期		備考
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	8,852	2.4	8,759	▲1.0	8,456	▲3.5	✓ 船舶排ガス用バルブの販売堅調。
陸用	4,630	▲7.3	4,207	▲9.2	4,288	1.9	✓ 陸用では首都圏の超高層ビルや半導体工場向けの納入が拡大。
船用	4,221	15.7	4,551	7.8	4,168	▲8.4	✓ 船用は国内のロー建造化が継続した。

<業界別売上高(単体)>	2020/3期		2021/3期		2022/3期		備考
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	8,158	5.7	7,973	▲2.3	7,762	▲2.6	✓ 首都圏の超高層ビル向け、およびDHC(地域熱供給)設備向けに納入(建築設備)。 ✓ 設備更新や改修用として納入(鉄鋼・金属)。 ✓ 重工メーカー発電所向けに納入(電力・ガス)。 2022/3期 売上高比率
陸用	3,963	—	3,682	▲7.1	3,807	3.4	
建築設備	677	—	558	▲17.6	708	27.0	
石油化学	291	—	365	25.5	541	48.0	
鉄鋼・金属	313	—	185	▲69.3	414	123.2	
電力・ガス	202	—	228	12.7	411	79.8	
その他	2,478	—	2,344	▲5.4	1,731	▲26.1	
船用	4,194	—	4,291	2.3	3,955	▲7.8	

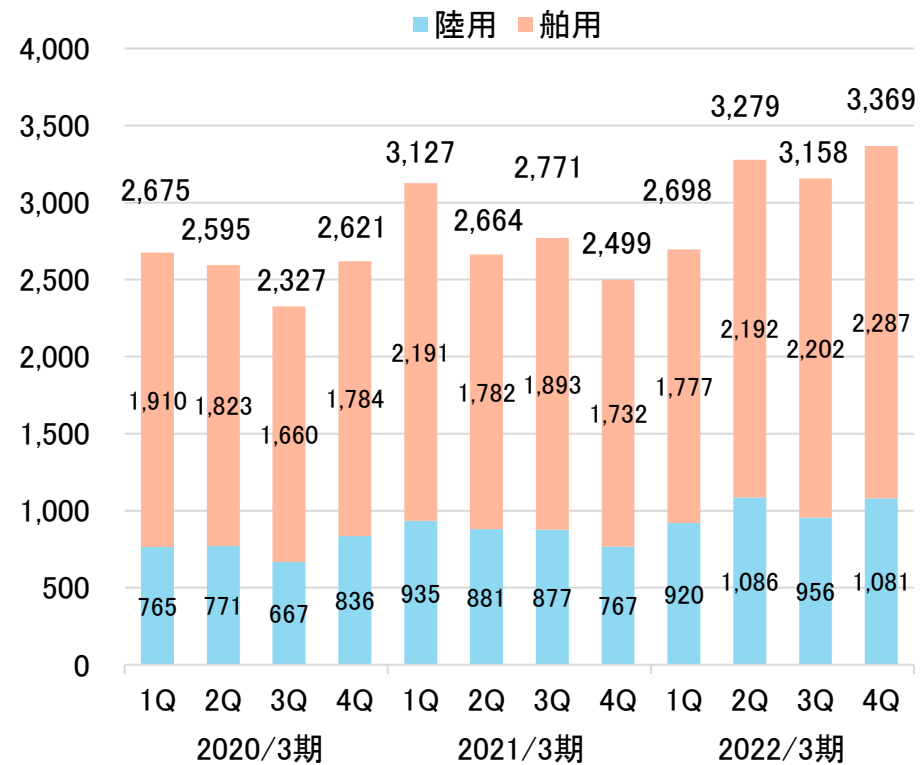
四半期毎受注高・受注残構成(市場別・単体)

(百万円)

受注高



受注残



- ✓ 直近の受注残は過去最高を記録。
- ✓ 船用では世界の新造船受注量の増加により、当社への発注、引き合いが増加。
- ✓ 陸用においても、首都圏の超高層ビルや半導体工場向けが堅調。

貸借対照表

(百万円)

<主な項目>	2020/3期	2021/3期	2022/3期	備考
資産合計	10,318	12,006	12,365	
流動資産	6,513	7,252	7,925	✓ 売上債権+190百万円。 ✓ 中国工場新設等により 建物及び構築物+465百万円。
現預金	2,015	3,071	3,480	
売上債権	2,074	1,749	1,939	
棚卸資産	2,391	2,275	2,398	
固定資産	3,804	4,754	4,440	✓ 保険積立金▲52百万円。
建物及び構築物	2,206	3,172	3,638	
保険積立金	125	140	88	
負債合計	4,667	4,324	3,845	
流動負債	2,272	2,099	2,166	✓ 支払債務+148百万円。 ✓ 1年内償還予定の社債▲170百万円。 ✓ 長期借入金▲176百万円。
支払債務	845	842	991	
固定負債	2,395	2,225	1,678	
長期借入金	1,478	1,540	1,363	
純資産合計	5,650	7,681	8,520	
株主資本	5,717	7,757	8,427	✓ 利益剰余金+669百万円。
利益剰余金	4,788	5,471	6,140	

キャッシュ・フロー

(百万円)

<主な項目>	2020/3期	2021/3期	2022/3期	備考
営業キャッシュ・フロー	1,573	1,093	993	
税金等調整前当期純利益	825	1,026	1,214	
売上債権の増減額(▲は増加)	1,140	310	▲177	✓ 税金等調整前当期純利益の増加。
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲275	125	▲67	
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲505	▲1	133	✓ 売上債権の減少。
未払又は未収消費税等の増減額	214	▲303	118	✓ 中国子会社等の補助金収入
補助金の受取額	293	9	511	
法人税等の支払額	▲512	▲231	▲193	
投資キャッシュ・フロー	▲819	▲1,902	▲237	
定期預金の預入による支出	—	▲512	▲254	
有形固定資産の取得による支出	▲754	▲1,278	▲203	✓ 中国子会社の工場を移転・新設(有形固定資産)。
保険積立金解約による収入	—	—	92	
財務キャッシュ・フロー	▲859	1,242	▲695	
長期借入金の返済	▲342	▲274	▲285	
配当金の支払い	▲66	▲66	▲180	✓ 1株当たり40円(普通配当35円、上場記念配当5円)の配当金の支払い。
現金および現金同等物残高	2,015	2,487	2,713	✓ 現金および現金同等物残高の増加。

流体制御の明日を開く

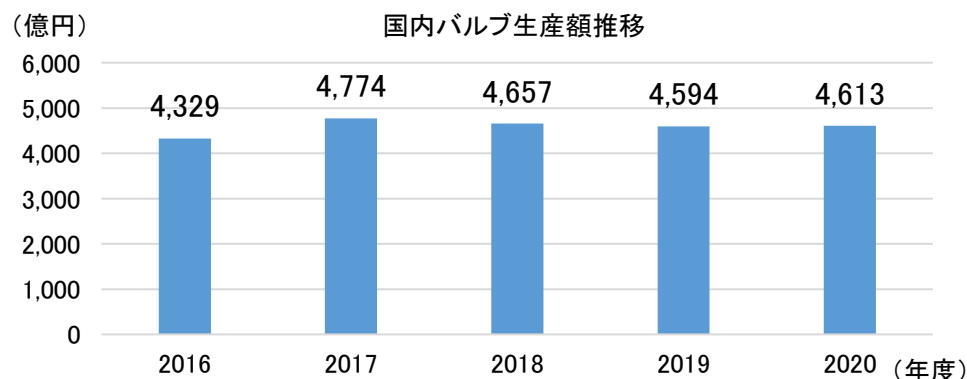


Ⅲ. 2023年3月期 業績予想

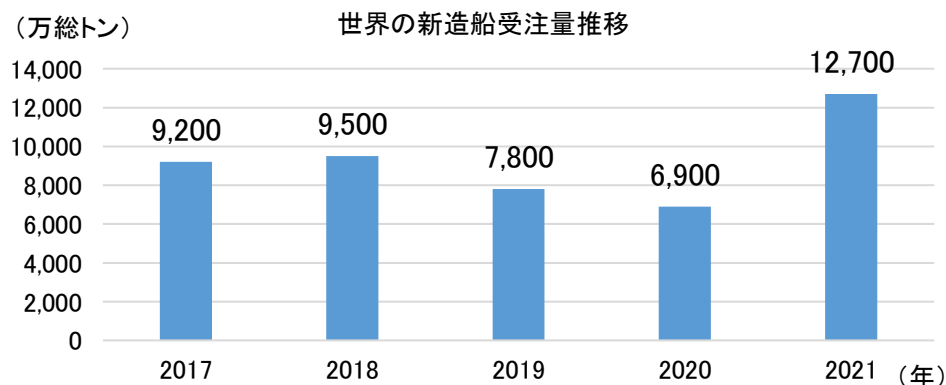
2023年3月期の業界環境と業績動向

✓ 業界環境

近年の日本のバルブ生産額は、4,500億円前後の高水準を維持しており、今後も堅調な需要が持続すると見込まれる。また、世界の新造船受注量が2021年に大きく増加しており、国際的な環境規制に対応する船舶排ガス用バルブを含む船舶用バタフライバルブの需要が拡大する見込み。



(出典) 経済産業省「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計」



(出典) 日本船用工業会資料等より当社作成

✓ 業績動向

2023年3月期の売上高は、陸用、舶用ともに足元の市場環境に明るさが出てきており、受注が回復傾向にあることから、前期を上回る水準で推移すると想定している。ただし、売上原価や販管費が膨らみ、利益面については減益となる見込み。

また、足元では新型コロナやウクライナ情勢等の影響により、原材料価格の高騰や物流の混乱といったリスクが存在しており、常に市場動向に注意を払いながら必要な対策を講じ、戦略的に経営を進めていく。

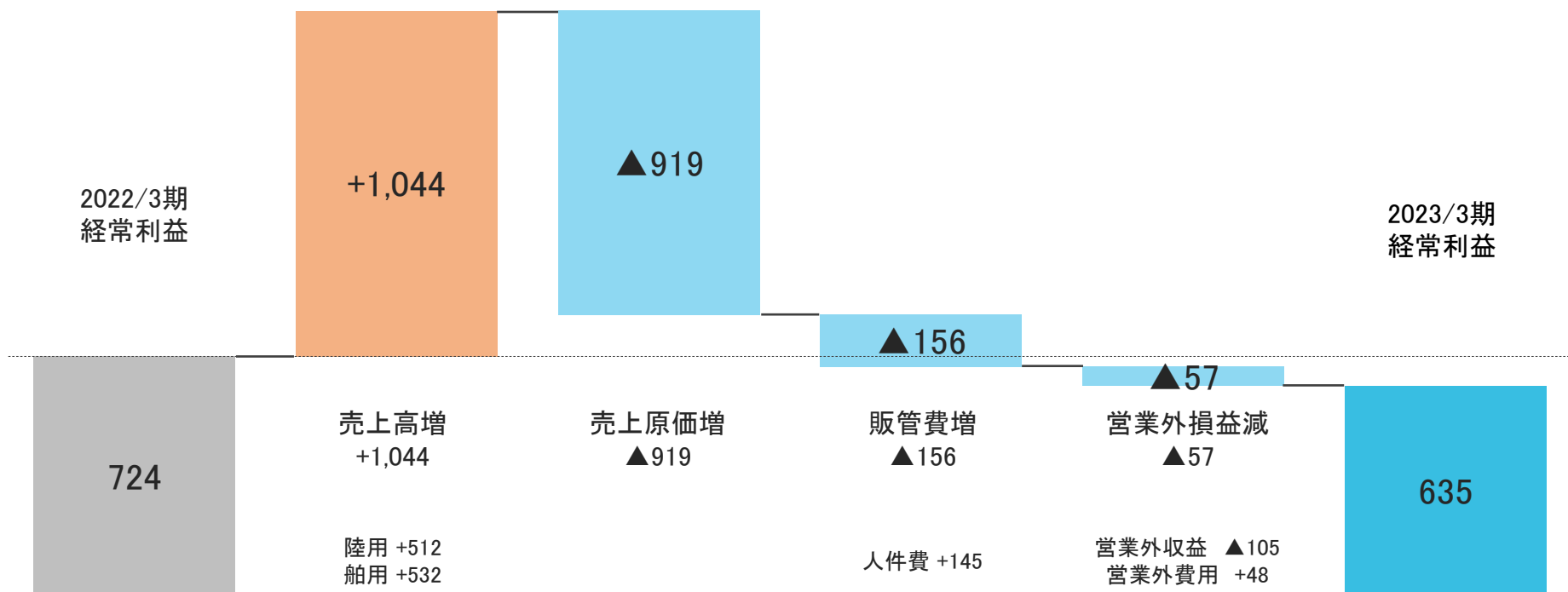
2023年3月期 業績予想サマリー

(百万円、%)

	2021/3期		2022/3期		2023/3期 業績予想			備考
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	予想	売上比	前年同期比	
売上高	8,759	▲1.0	8,456	▲3.5	9,500	100.0	12.3	(前年同期比) ✓ 陸用 +11.9% ✓ 船用 +12.8%
営業利益	1,009	13.0	662	▲34.4	630	6.6	▲4.9	✓ 売上原価 +17.1% ✓ 販管費 +6.5%
経常利益	1,025	20.8	724	▲29.3	635	6.7	▲12.4	✓ 営業利益減による減益
親会社株主に帰属する当期純利益	749	30.8	850	13.4	430	4.5	▲49.4	✓ 営業利益減による減益
1株当たり配当金(円) (株式分割調整後)	40 (普通配当35円 記念配当5円)		45 (普通配当35円 記念配当10円)		35			✓ 配当金額は維持

経常利益増減分析

(百万円)



- ✓ 陸用では、半導体工場の増産投資や各種プラントの設備の改修案件等の引き合いが増加。また、首都圏の再開発が進んでおり、超高層ビル向けの納入を開始している。
- ✓ 船用においては、LNG燃料船等の環境規制対応船や大型コンテナ船向けの需要が拡大する見込み。
- ✓ 原材料価格の高騰等により売上原価が増加。
- ✓ 社員満足度向上のための人事制度・給与体系見直しに伴う人件費の増加。

流体制御の明日を開く

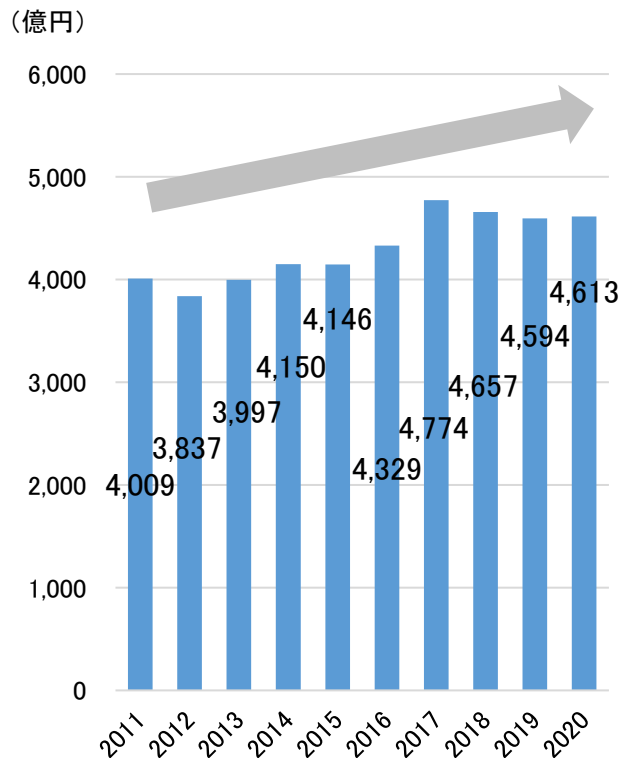


IV. 新中期経営計画について



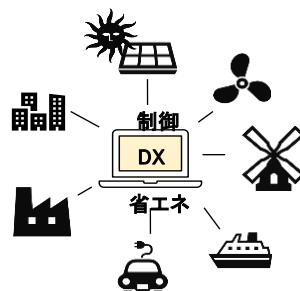
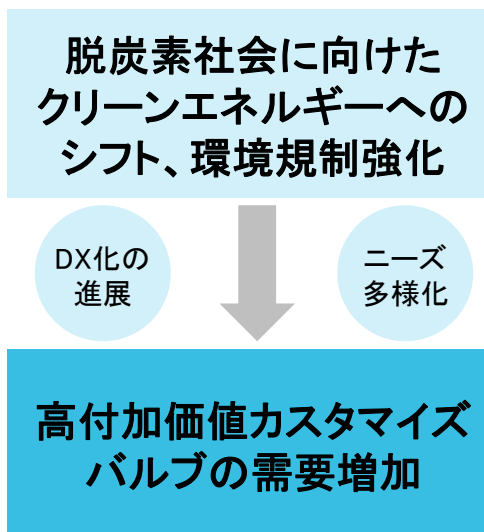
オーケーエムを取り巻く事業環境

バルブ生産額

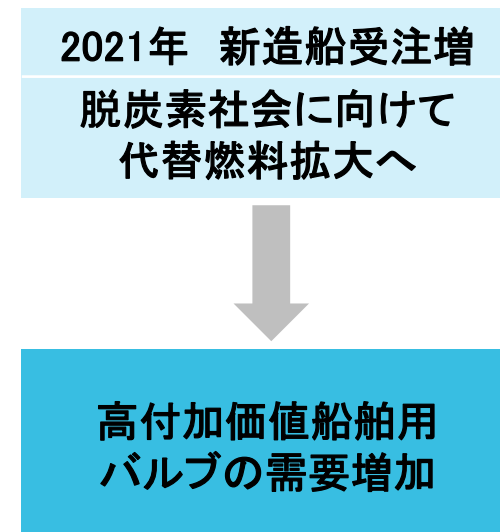


(出典) 経済産業省
「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計」

脱炭素



海運業界



LNG・水素・アンモニア燃料船、
水素運搬船拡大の見込み

- ✓ 脱炭素社会に向けた新エネルギーへのシフトおよび環境規制に伴う需要が発生。
- ✓ 顧客ニーズの多様化により、高付加価値カスタマイズバルブの開発が求められる。

新中期経営計画の基本方針

パーパス

いい流れをつくる。

目に見えるもの、見えないもの。私たちは、あらゆる流体をつないでいる。
社会の課題を見つけ環境を考え、働きやすく暮らしやすい世の中へ導く。
私たちは信じている。独創的な技術で、いい流れをつくる。

社是(創業の精神)

- 一 独創的な技術
- 二 最高の品質 最低の資源消費
- 三 余裕ある生活と豊かな心
- 四 地域社会に貢献する

中長期ビジョン「Create 200」

- (1) 世界の成長市場向けに、新商品開発とラインナップの拡充を行い、お客様に選ばれ続ける企業になる。
- (2) 70期(2030年度)にグループ連結売上高200億円を達成する。
- (3) 活気あふれ、社員が働きがいや自己の成長を実感できる企業になる。

新中期経営計画の基本方針

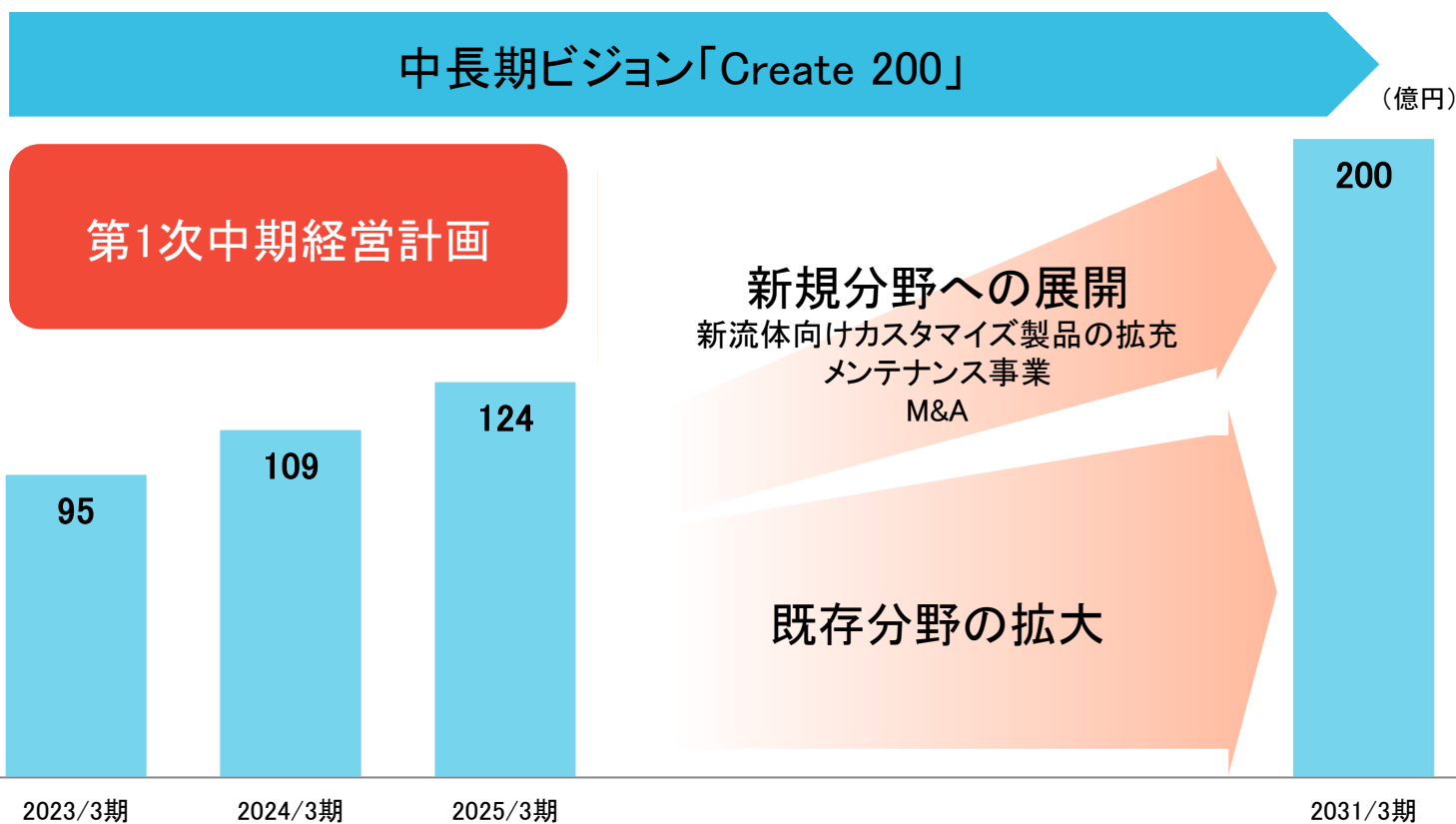
脱炭素化に向けたクリーンエネルギー市場を含む成長市場に対応できる
新商品開発と販売体制を確立する

新中期経営計画の位置づけ

基本方針

脱炭素化に向けたクリーンエネルギー市場を含む成長市場に対応できる新商品開発と販売体制を確立

<売上高イメージ>



変革期

成長期

定量目標



(百万円)

	2022/3期 実績	2023/3期	2024/3期	2025/3期
売上高	8,456	9,500	10,900	12,400
陸用	4,288	4,800	5,500	5,700
船用	4,168	4,700	5,400	6,700
営業利益	662	630	790	1,070
営業利益率	7.8%	6.6%	7.2%	8.6%
ROE	10.5%	4.8%	5.7%	7.2%
配当性向	23.9%	30%を目途とする		

基本方針と基本戦略

基本方針

脱炭素化に向けたクリーンエネルギー市場を含む成長市場に対応できる新商品開発と販売体制を確立する

基本戦略

戦略Ⅰ 成長市場に対応できる新商品開発と販売体制を確立する

戦略Ⅱ 既存の商品力を強化する

戦略Ⅲ 企業風土を変革し、サステナブルに成長・発展する

戦略Ⅳ 社員満足度を向上させる

基本戦略別の施策

戦略Ⅰ 成長市場に対応できる新商品開発と販売体制を確立する

施策	具体策	目標
<p>脱炭素社会向け製品の 研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンモニア用バルブ、CO2用バルブの製品開発 →顧客との共同開発を推進 ・液化水素用大口径バタフライバルブの研究開発 →陸用・船用に係る市場動向調査 ・産官学連携により、「脱炭素化」を見据えた事業領域を拡大するための施策を展開 →マーケティング領域を「バルブ」から「流体制御に係る機器・システム」に拡大 →工場・ビル・プラント等陸上設備の環境負荷低減や環境規制に係るマーケティングを強化 <div data-bbox="1274 449 1543 835" style="text-align: center;"> <p>産官学ネットワーク 脱炭素化へ</p> </div>	<div data-bbox="1636 428 1978 485" style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 5px; text-align: center;">開発完了</div> <div data-bbox="1740 499 1895 735" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">New product アンモニア用バルブ CO2用バルブ</p>
<p>低炭素社会向け製品の 販売展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内LNG市場の販売拡大に向けた営業活動の推進 ・LNG用バルブの海外市場参入に向けたラインアップの拡充 →韓国・中国のニーズに合った製品開発 ・LNG用バルブのコスト低減を推進 <div data-bbox="1212 935 1564 1320" style="text-align: center;"> <p>極低温用 ハイパフォーマンス バタフライバルブ</p> </div>	<div data-bbox="1636 921 1978 978" style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 5px; text-align: center;">LNG燃料船へ導入</div> <div data-bbox="1626 1028 1771 1092" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1688 1092 1916 1320" style="text-align: center;"> <div style="background-color: #FF8C00; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 20 </div> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 5px;">隻</p> </div>

基本戦略別の施策

戦略Ⅰ 成長市場に対応できる新商品開発と販売体制を確立する

施策	具体策	目標
船舶排ガス用バルブ製造・販売の強化	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な製品の改良、改善 →モデルチェンジ製品「ExVMARK II」の上市 最適地生産、最適地販売 	<p>世界シェアトップの維持</p> <p>売上拡大</p> <p>100 115 130 165 (2022/3期を100とする)</p> <p>2022/3期 2023/3期 2024/3期 2025/3期</p>
新たな販売体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 深堀型技術営業体制の構築 デジタルマーケティングの推進 顧客情報の全社一元化、共有により販売効率を向上 提案型のメンテナンスサービス体制の構築 →船舶排ガス用バルブやLNG用バルブ、陸用市場への拡大を企図 	<p>販売効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人当たり売上高の向上 (百万円) <p>25 35</p> <p>2022/3期 2025/3期</p>

戦略Ⅱ 既存の商品力を強化する

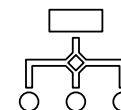
施策	具体策
生産体制の変革	<ul style="list-style-type: none"> 蓄積した流体制御とシール技術を活かしたカスタマイズ製品の開発 生産業務のDX化を推し進め、生産性の向上、品質の安定化、コスト競争力を強化 加工、組立、塗装、検査、物流工程の自動化・省力化・無人化の実現

基本戦略別の施策

戦略Ⅲ 企業風土を変革し、サステナブルに成長・発展する

施策	具体策
ガバナンスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ経営の最適化 ・情報発信の拡充 ・コンプライアンスの徹底、リスク管理体制の強化
サステナビリティをめぐる課題への取り組み推進	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティに関する3つの重点目標(地球環境保全への取り組み、グローバル社会への貢献、社員満足度の向上)について各プロジェクトで展開 ・多様な人材が多様な働き方で安心して働けるよう職場環境の改善を推進

グループ経営最適化



ステークホルダーとの協働深化



戦略Ⅳ 社員満足度を向上させる

施策	具体策
人材育成の加速化	<ul style="list-style-type: none"> ・社員教育制度の充実化 ・人事考課制度の見直し
ワーク・ライフ・バランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革」に則した就業環境づくりへの取り組み ・風通しのよい職場づくり、失敗を恐れない風土づくり ・福利厚生の充実化

人事考課制度の見直し



Evaluation

社員教育制度の充実化



ワーク・ライフ・バランスの推進



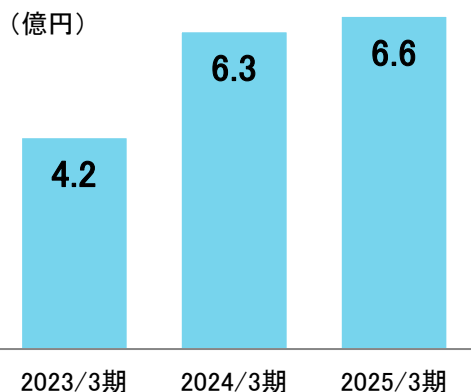
全社戦略



投資戦略(設備投資・研究開発投資)

設備投資計画

(億円)



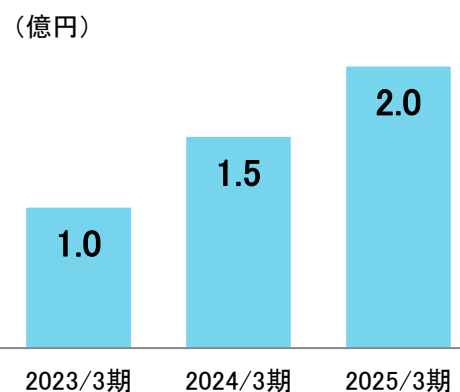
**設備投資総額
(3年間累計) 17.1億円**

新市場向け製品開発・
既存製品再開発
12.3億円

DX投資 3.1億円

研究開発投資計画

(億円)



**研究開発投資総額
(3年間累計) 4.5億円**

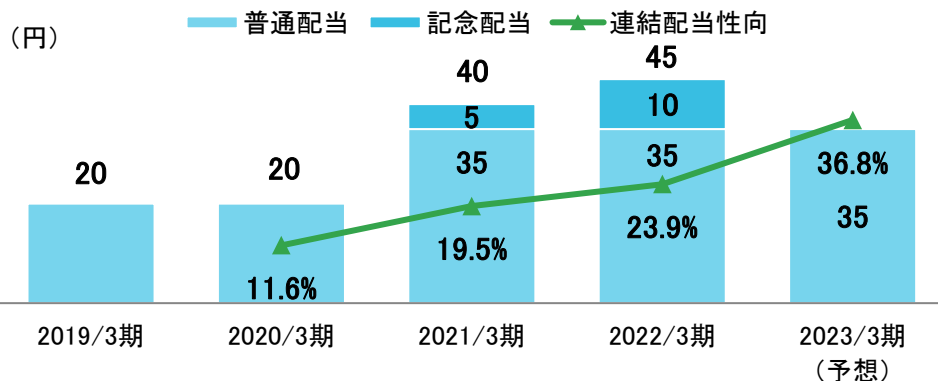
新市場向けバルブ開発
(LNG、水素、アンモニア等)

既存バタフライバルブ再開発
(品質、生産性、収益性見直し)

財務戦略・株主還元方針

1株あたり配当金額・連結配当性向の推移

(円)



・業績動向に加えて、新技術・新製品の研究開発投資や設備投資等の様々な資金ニーズに対応すべく内部留保の充実を図りつつ、配当の継続性、安定性にも十分留意して株主還元を実施する

・連結配当性向として概ね30%を目途とする

SDGsへの取り組み

オーケーエム SDGs取組宣言




オーケーエムは、国連が採択した、SDGsの趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現のため事業活動を通じ、地球環境の保全と世界の持続的な発展に貢献することを宣言します。

2020年4月1日

重点取組目標

地球環境保全への取組	事業活動を通じ、資源の効率的な活用を推進し、地球環境を保全することにより持続可能な社会の実現に貢献します。
グローバル社会への貢献	独創的な技術の開発を追求し、インフラ整備を通じて、地域社会を含めたグローバル社会の持続的な成長に貢献します。
社員満足度の向上	社員の多様性を尊重し、真に豊かなところを持った社員の育成に努めます。

主な取組状況とSDGs目標

排ガスバルブ、バラスト水処理用バルブの製造、販売	   	国や団体からの各種認定取得	   
ASEAN地域での水道用バルブの製造、販売	   	工場照明にLEDを一部採用	 
水処理設備用バルブ、雨水用バルブの製造、販売	  	SDGs私募債の導入、図書館への図書の寄贈	

ESGへの取組み

	従来の取組み	今後の取組み
E Environment (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱炭素社会に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・環境規制に対応する製品販売 ・LNG燃料運行船舶向けの製品販売 ・太陽光発電システム、LED照明、電動フォークリフト、電気自動車の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱炭素社会に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・水素・アンモニア等クリーンエネルギーへの対応 ・太陽光システムの導入拡大 ・再生可能エネルギーの調達推進 ・ペーパーレス化推進
S Social (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 世界のインフラ整備や環境保全に貢献する製品販売 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な水の供給支援 ・バラスト水処理による海洋生態系保全の推進 ✓ 社員教育の充実と社員が誇りを持てる会社づくり ✓ 地域社会への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県の「サステナビリティ・リンク・ボンド」への協賛 ・子どもたちの育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 職場環境の整備・ダイバーシティ経営推進 <ul style="list-style-type: none"> ・IT環境整備、DX推進 ・やりがい・働きがいを育む風土醸成 <ul style="list-style-type: none"> ～ 創業120周年に合わせ制服刷新 ⇒ 多様性尊重、エンゲージメント向上 ・性別、国籍、人種を問わない活躍の場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ～ 新卒/中途入社、性別などにこだわらず、優秀な人材を積極登用
G Governance (ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実効性の高いガバナンスの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な経歴・スキルを持つ独立社外取締役の登用 ・取締役会の活性化、迅速かつ的確な意思決定 ✓ 投資家との建設的な対話推進(IRの充実) ✓ 譲渡制限付株式等の株式報酬制度導入を検討 	

流体制御の明日を開く



Appendix. オーケーエムについて



連結業績推移



(百万円)

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
売上高	8,646	8,852	8,759	8,456
前年比	—	2.4%	▲1.0%	▲3.5
売上総利益	3,657	3,369	3,482	3,075
前年比	—	▲7.9%	3.4%	▲11.7
売上総利益率	42.3%	38.1%	39.7%	36.4%
販管費	2,318	2,475	2,472	2,413
前年比	—	6.8%	▲0.1%	▲2.4%
販管费率	26.8%	28.0%	28.2%	28.5%
営業利益	1,338	892	1,009	662
前年比	—	▲33.3%	13.0%	▲34.4%
営業利益率	15.5%	10.1%	11.5%	7.8%
経常利益	1,335	849	1,025	724
前年比	—	▲36.4%	20.8%	▲29.3%
経常利益率	15.4%	9.6%	11.7%	8.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	891	573	749	850
前年比	—	▲35.7%	30.8%	13.4%
当期純利益率	10.3%	6.5%	8.6%	10.1%
ROE	17.3%	10.1%	11.2%	10.5%

貸借対照表推移

(百万円)

<主な項目>	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
資産合計	10,884	10,318	12,006	12,365
流動資産	7,692	6,513	7,252	7,925
現預金	2,148	2,015	3,071	3,480
固定資産	3,192	3,804	4,754	4,440
有形固定資産	2,779	3,222	4,220	4,022
無形固定資産	111	257	242	190
投資その他の資産	303	323	291	227

負債合計	5,724	4,667	4,324	3,845
流動負債	3,433	2,272	2,099	2,166
固定負債	2,291	2,395	2,225	1,678
純資産合計	5,161	5,650	7,681	8,520
自己資本比率	47.4%	54.8%	64.0%	68.9%

会社概要

バルブの開発・設計から製造、販売までワンストップサービスを提供する、
1902年(明治35年)創業のバルブメーカー

商号	株式会社オーケーエム
代表者	代表取締役社長 奥村晋一
本社所在地	滋賀県野洲市市三宅446-1
創業	1902年(明治35年)1月
設立	1962年(昭和37年)5月31日
資本金	1,178,196,655円(2022年3月末時点)
連結売上高	8,456百万円 (2022/3期)
従業員数	連結:326名 単体:233名 *2022年3月末時点、臨時従業員を除く
拠点	【支店】東京、大阪 【営業所】名古屋、広島、福岡 【駐在員事務所】ホーチミン*、韓国 【工場】日野工場、東近江工場 【研究所】本社・研究開発センター(滋賀県野洲市) *ホーチミン駐在員事務所は、OKM VALVE(M)SDN. BHD.に属する。
連結子会社	【中国】奥村閥門(江蘇)有限公司 【マレーシア】OKM VALVE(M)SDN. BHD.
事業免許	経済産業大臣高圧ガス認定事業所(N弁類) ISO9001認定取得、ISO27001認証取得
株式上場	2020年12月 東京証券取引所第二部上場 2022年4月 東京証券取引所スタンダード市場

オーケーエムグループ①(国内拠点)

国内8拠点

本社・研究開発センター

日野工場

東近江工場

東京支店

大阪支店

名古屋営業所

広島営業所

福岡営業所



東近江工場





日野工場



オーケーエムグループ②(海外拠点)

製造・販売拠点




OKM VALVE(M)SDN. BHD.	奥村閥門(江蘇)有限公司
 <p data-bbox="689 679 1013 708">※マレーシア スランゴール州</p>	 <p data-bbox="1299 679 1984 708">(工場は2021年1月竣工・操業開始) ※中国 江蘇省 常熟市</p>
1990年設立	2019年設立 (2003年設立の蘇州法人より工場移転完了)
<p data-bbox="78 796 1009 905">オーケーエムの外注生産先でもあり、マレーシアの水道分野やパーム油を中心とした工業分野、ベトナムの水道分野などの東南アジア地域を中心にバルブの製造・販売を展開。</p> <p data-bbox="78 948 302 979">【主な生產品目】</p> <ul data-bbox="78 986 582 1053" style="list-style-type: none"> ・ゴムシートバタフライバルブ ・ハイパフォーマンスバタフライバルブ 	<p data-bbox="1050 796 1968 905">オーケーエムの外注生産先でもあり、中国の造船、半導体、食品、工業用ガス分野を中心に幅広い工業分野に対してバルブの製造・販売を展開。</p> <p data-bbox="1050 948 1274 979">【主な生產品目】</p> <ul data-bbox="1050 986 1551 1093" style="list-style-type: none"> ・ゴムシートバタフライバルブ ・ハイパフォーマンスバタフライバルブ ・ナイフゲートバルブ

販売・サポート拠点

韓国駐在事務所	韓国国内のエンジンメーカーへのサポートおよび事業拡大に向けたマーケティング活動を実施。
ホーチミン駐在事務所	ベトナム国内の水道分野・工業分野を中心にマーケティング活動を実施。

製品と用途

主な製品: バタフライバルブ、ナイフゲートバルブ、ピンチバルブ






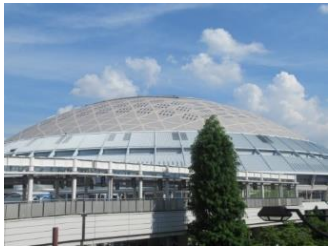
バタフライバルブ	ナイフゲートバルブ	ピンチバルブ
		
<ul style="list-style-type: none"> 弁体（輪っかの中の円板）を90度回転して開閉する。 中間開度での流量調整機能にも優れ、幅をとらず、省スペースで設置可能。 	<p>[電子制御バルブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピューターからの信号によって弁体の開度を調整し、流体をコントロールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 鋭いエッジを有するプレートの出し入れで開閉する。 各種スラリー、粉粒体、固形物、パルプストック等、一般のバルブでは処理できない流体を止めることが可能。
バタフライバルブ 売上構成比 84%(2022/3期)		その他 売上構成比 16%(2022/3期)

主な用途: 空調設備、造船、半導体、石油、化学、鉄鋼、電力、水道、食品など多様な流体配管に使用

※バルブ(弁)とは、主に配管などの内部を通す空気やガスなどの気体、水や油などの液体、あるいは粉体などの流体が通る空間の開閉や流体の制御および調節などができる可動機構をもつ機器の総称

オーケーエムの強み①

幅広い業界の大手優良顧客(納品先、最終需要先)基盤を確立

造船・重機	半導体	食品・医薬	超高層・複合ビル
 <ul style="list-style-type: none"> ・今治造船・JMU ・日立造船・三井E&S造船 ・三菱重工業・川崎重工業 ・マキタ・ヤンマー 他 	 <ul style="list-style-type: none"> ・キオクシア・東京エレクトロン ・ソニー・ローム ・京セラ・富士通 他 	 <ul style="list-style-type: none"> ・アサヒビール・カルビー ・キリンビール・キューピー ・ブルボン・ハウス食品 ・永谷園・マルコメ 他 	 <ul style="list-style-type: none"> ・常盤橋タワー(A棟) ・あべのハルカス ・横浜ランドマークタワー ・六本木ヒルズ森タワー 他
駅、空港施設	アミューズメント開発	海外	
 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪駅・東京駅 ・羽田空港・成田空港 ・関西国際空港 他 	 <ul style="list-style-type: none"> ・東京ディズニーシー ・ユニバーサルスタジオジャパン ・ハウステンボス ・ナゴヤドーム 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・Hyundai Heavy Industries Co.,Ltd.(韓国/船舶エンジン) ・Ajinomoto Co., (Thailand) Ltd.(タイ/食品) ・Taganito HPAL Nickel Coporation(フィリピン/ニッケル鉱山) ・上海中船三井造船柴油機有限公司(中国/船舶) ・南京聯合鋼鉄(中国/PSA) ・長江存儲科技有限責任公司(中国/半導体) ・Syarikat Air Terengganu Sdn bhd (SATU)(マレーシア/水道公社) ・Hanoi Water Works(ベトナム/水道公社) ・FGV Holdings Berhad(マレーシア/パーム油) 	

オーケーエムの強み②

自社が主体となった製品開発の推進

各種実験プラントを自社で所有してバルブ特性や流量特性などの実験を行い、データを収集、解析している。顧客の仕様に合わせた様々な試験が可能であるとともに、データ、ノウハウを自社内に蓄積してさらなる新製品開発に活用している。

高温流体試験



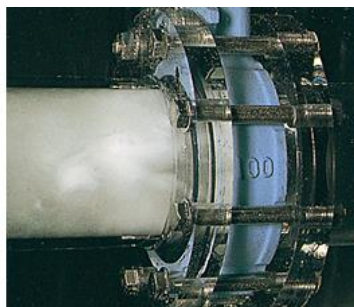
実際に製品が使用される温度環境を再現する試験で、電気ヒーターにて**最高700度**の熱風を発生させ高温状態でバルブの性能や特性を評価する。

ファイヤーセーフ試験



消火設備や可燃性流体を通す配管での使用を想定し、火災等で焼損した状態でも一定の性能が維持できているかどうかの性能を評価する。

キャビテーション試験



配管浸食・騒音・振動の原因となるキャビテーション(液体の流れの中で圧力差により短時間に泡の発生と消滅が起きる物理現象)発生時のバルブの性能や特性を評価する。

低温流体試験



実際に製品が使用される温度環境を再現する試験で、液体窒素を投入して**マイナス196度**の低温状態でバルブの性能や特性を評価する。

オーケーエムの強み③

幅広い取扱製品と耐熱温度範囲で、顧客のニーズに細やかに対応

広範囲にわたる業界に対応できる製品ラインナップを保有し、多品種・小ロットで、細やかなカスタマイズ製品を開発・供給できる。また、顧客と一体となり顧客の個別ニーズに合わせたカスタマイズバルブを開発している。

当社がカスタマイズするバルブ

型式	×	サイズ	×	部品	×	材質	×	制御方法	=	10万種類以上
<ul style="list-style-type: none"> ・バタフライバルブ ・ナイフゲートバルブ ・ピンチバルブ ・チェッキバルブ など		内径サイズ (最小25mm～ 最大3,000mm)		<ul style="list-style-type: none"> ・本体 ・弁体 ・シートリング ・上部弁棒 ・ガスケット 		<ul style="list-style-type: none"> ・ダクタイル鋳鉄 ・鋳鋼 ・ステンレス ・樹脂 ・ゴム など		<ul style="list-style-type: none"> ・レバー式 ・ギヤ式 ・シリンダ式 ・電動式 		

耐熱温度範囲は「-196℃～700℃」

⇒顧客ニーズに応じて、広範囲の温度帯に対応可能

＜様々な用途に用いられるバルブの例＞



化学薬品・石油オイル関係・
 高圧蒸気・高圧流体用
 ハイパフォーマンスバタフライバルブ

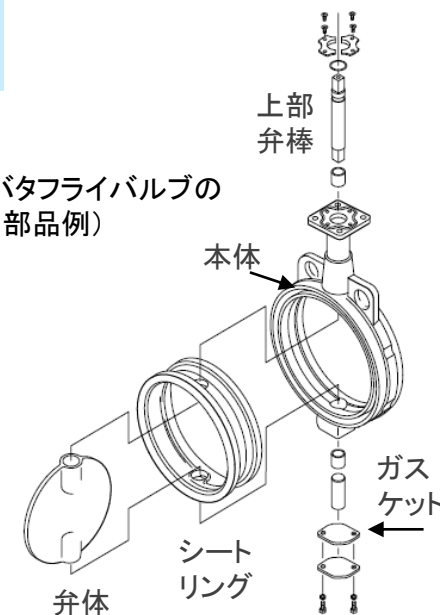


製紙・石油化学・化学・食品・鉱山・
 下水処理・高濃度・高粘度流体用
 ナイフゲートバルブ



ヘドロ・鉱石スラリー・セメント・粉体・
 パルプ・下水汚泥等用
 ピンチバルブ

一般的なバタフライバルブの
 内部構造(部品例)



■ 将来予測に関する注意事項

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社オーケーエム

管理統括本部 経営企画部 経営企画課

メールアドレス: prir@okm-net.co.jp